電波利用セミナー「電波利用によるデジタル化と北陸の暮らし・未来」

～ 5G／6Gによる地域の課題解決と創造に向けて ～

日時：令和５年３月９日（木）１３:３０～１７:００（開場13：00予定）

場所：金沢東急ホテル ５Ｆ ボールルーム（石川県金沢市香林坊2-1-1）

参加無料

政府が推進している「デジタル田園都市国家構想」は、「デジタルの力で地方の個性を活かしながら、社会課題の解決と魅力の向上を図り、全国どこでも誰もが便利で快適に暮らせる社会を目指す」こととしています。
セミナーでは、デジタル化に不可欠な電波利用政策の最新動向や先進的な自治体、企業の事例を紹介し、北陸地域のデジタル化推進に貢献することを目的としています。

第１部

講演１

演題「電波政策の最新動向」

講師：総務省総合通信基盤局 電波部 電波政策課 課長 荻原 直彦

5Gビジネス拡大に向けた方策等の検討状況のほか、ローカル5G制度の柔軟化、無線LANの周波数拡充、地域DX化の支援事業など電波政策の最新動向について紹介。

講演２

演題「ローカル5Gによる地域課題解決」

講師：徳島県 政策創造部 地方創生局 デジタルとくしま推進課長 木野内 敦 氏

「徳島5G革命」を打ち出し、令和2年9月以降、ローカル5G基地局を多数開局。実験にとどまらず、病院連携・遠隔診療、河川防災、農業、工業、土木へと利用を拡大している。今春にはローカル5Gとキャリア5Gの基地局共有化に取り組む。

講演３

演題「電波利用によるL5G・DXの取り組み」

講師：北陸電気工事株式会社 本店 外線送変電部 副部長 澤井 俊夫 氏

技術開発センターを開設し、ローカル5G実証実験設備を導入。現場遠隔支援の実証を検証。山間地や高所工事に資するデジタル化を複数、独自開発。全社員に5Gスマホを支給し現場DXに取り組む。

講演４

演題「酒造業界におけるRFIDタグの活用について」

講師：高桑美術印刷株式会社 商品開発部 参与 三納 哲也 氏

黒龍酒造（株）（福井県）等と、RFIDタグと二次元コード利用による日本酒の流通管理システムを開発・実運用し、2021年度自動認識システム大賞優秀賞受賞。（株）高橋商店（福岡県）とNFCタグによる「開封カウンターサービス」を開始、日本酒の流通管理のデジタル化に先進的に取り組む。

第２部　パネルディスカッション

テーマ「デジタル化による暮らし・未来について」

コーディネーター：北陸情報通信協議会 副会長 大薮 多可志 氏

パネリスト：第１部の講師４名

＜対象者＞　一般（どなたでもご参加いただけます。）
＜定員＞　100名
＜申込方法＞
参加を希望される方は、3月6日（月）までに電子メールにより、以下の項目を記入の上、お申し込みください。
・電子メールの件名に[電波利用セミナー参加申込]と記入。
・電子メールの本文に、企業・団体名(学生の場合は学校名)、所属部署・役職、氏名、連絡用電子メールアドレス、電話番号を記入。
・申込先電子メールアドレス　mic-hkrk-seminar@soumu.go.jp
・お申込みに係る氏名等の個人情報については、本セミナーの参加に関する手続きのみに使用し、第三者に開示・提供・預託は行いません。

主催：総務省北陸総合通信局
共催：北陸情報通信協議会（HICC・予定）
一般財団法人全国地域情報化推進協会（APPLIC）

【問合せ先】北陸総合通信局電波利用企画課
TEL:076-233-4470
電子メールアドレス:mic-hkrk-seminar@soumu.go.jp